

医療・看護安全対策委員会情報 2008年6月号(N0.50)

「医療安全全国共同行動」についてご存知ですか？

あいにく医療事故によって、いま医療に対する信頼が大きく揺らいでいます。

医療従事者は医療の安全確保に日々努力を重ねていますが、入院患者の6.8%に有害事象が生じている事が報告されています。

これら多発する有害事象を可能な限り低減させ、かつ有害事象から患者さんの生命を守るために全力を尽くす事は医療に関わるすべての人々の責務であります。

医療安全全国共同行動（“いのちをまもるパートナーズキャンペーン”/日本版 100K Lives Campaign）は、全国の病院と各種医療団体が行動目標を共有し力を結集して取り組むことで、医療の質・安全の向上をめざす取り組みを広く全国の病院に普及し、目に見える成果を達成し、医療に対する患者・市民の信頼を高めることを目的とします。

医療安全全国共同行動は、①患者・市民の医療参加、②危険薬の誤投与防止、③急変時の迅速対応、④周術期肺塞栓症の防止、⑤危険手技の安全な実施、⑥医療関連感染症の防止、⑦事例要因分析から改善へ、⑧医療機器の安全な操作と管理、の8つの行動目標（頭文字をとって、PARTNERS）の実現に取り組めます。

情報は

医療の質・安全学会

www.qsh.jp/kyodokodo/

からご参照下さい。

貴施設でもご参加を検討されてみたらどうでしょうか。

参考文献：医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”